

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 1-3. 麻疹

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

### ●麻疹(はしか)

**概要**

**麻疹(はしか)とは**

麻疹は強力な伝播力をしめず小児の代表的な全身性ウイルス感染症です。その症状の特徴は二峰性の発熱、コプリック斑、全身発疹等です。麻疹の予後は一般に良好で感染後10～14日で回復しますが、ときに致命的な急性脳炎や巨細胞性肺炎を併発し予後不良になることもあります。麻疹罹患は強度の免疫抑制を引き起こし、種々の日和見感染症を続発する要因となります。さらに、遅発性感染症として約6年の潜伏期を経て亜急性硬化性全脳炎(SSPE)を発症することがあります。また、妊婦に対しては流産や早産、肺炎の誘発要因となり、死亡率を通常の6倍に高めます。さらに、多発性硬化症や潰瘍性大腸炎など難病の誘発要因として注目されています。麻疹は単に「発熱、発疹を示す小児の病気」ではないのです。

麻疹ウイルスをサルに感染させると、ウイルスはリンパ節、胸腺、呼吸器、消化管、骨髄、脾、泌尿生殖器など、全身に分布するすべてのリンパ細胞で増殖し細胞同士を融合させるのです。リンパ系の細胞や組織は免疫の要です。なかでも胸腺は免疫の中核です。麻疹ウイルスはこの胸腺を標的としてより大量に増殖し、組織細胞が壊死させ(全く同じ病変がヒトの感染組織(死亡例)でも観察されます)その機能(免疫)を障害します。これが麻疹の本質であり、麻疹でさまざまな日和見感染症が誘発される理由なのです。

麻疹は主要先進工業国ではすでに制圧され、現在は輸入感染症として対策がとられています。しかし、わが国では2000年代に入っても各地で小流行を繰り返し、2006～07年には東京と近県で15～30歳台を中心に麻疹(成人麻疹)が流行、多数の高校、大学が休校しました。

WHOは西太平洋地域から2012年までに麻疹を制圧する計画です。最近、わが国も麻疹ワクチンは2回接種方式に変更しました。「麻疹ワクチンの接種率を限りなく100%に近づけ麻疹を制圧する」がわが国に課せられた国際的責務なのです。

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.



### 1-4. ノロウイルス感染症

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

### ●ノロウイルス感染症

**概要**

**ノロウイルス感染症とは**

ノロウイルス(Noroviruses: NV)はこれまで病気が最初に報告された米国オハイオ州の地名からノーウオークウイルス(Norwak virus)と呼ばれていたウイルスです。カリシウイルス(Family Calciviridae)に属し、12月から3月をピークにして全国的に嘔吐、下痢などの急性胃腸炎症状をひき起す冬型の胃腸炎、食中毒の原因ウイルスとして知られています。主要な感染経路は、汚染食品や物品を介した糞口感染です。具体的には汚染二枚貝類の生食(とくにカキ)、加熱が不十分な汚染食品の摂取、感染者による調理食品の喫食などです。狭い空間では飛沫、空気感染による感染拡大の可能性もあります。症状は軽症で数日で回復します。しかし、高齢者施設では死亡例もあります。

国内の年間食中毒発生件数は1,500件前後で、うちノロウイルスによる事件数は全体の15～20%です。しかし、患者数は全体の30～35%をしめ第1位となっています。

感染症法では5類感染症です。全国約3,000定点での把握疾患です。<http://idsc.nih.gov.jp/idwr/index.html>。医師は食中毒が疑われる場合には、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る必要があります。

ノロウイルスは細胞での培養や動物での感染実験がいまだに成功していません。ヒトが唯一の感受性宿主です。潜伏期は1～2日。嘔気、嘔吐、下痢のほか、腹痛、頭痛、発熱(37～38℃)、悪寒、筋肉痛、咽頭痛、倦怠感などを伴うこともあります。乳幼児や高齢者では脱水や窒息に注意する必要があります。症状が消失した後も5日間程度はウイルスを便中に排出します。これが感染源となり感染が拡大されることがありますので排泄物等の処理に注意する必要があります。治療薬はなく、整腸剤や痛み止めなどの対症療法のみです。

予防には衛生管理を徹底することです。とくに食品取扱者の入念な手洗いは極めて重要です。その啓発、教育を十分に行う必要があります。

消毒には次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒するか、85℃以上で少なくとも1分以上加熱する必要があります。

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.



## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 1-5. 狂犬病

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

トップ	鳥(H5N1)インフルエンザ	新型A(H1N1)インフルエンザ	麻疹(はしか)	ノロウイルス感染症	狂犬病
ウエストナイルウイルス感染症	エボラ出血熱	結核	黄色ブドウ球菌	腸管出血性大腸菌	赤痢
マラリア					

---

**● 狂犬病**

概要

Q&A

**狂犬病とは**

狂犬病はRNAウイルスであるラブドウイルスによって引き起こされる病気で、すべての哺乳類で感受性があり、感染すると急性の脳炎を引き起こします。発症したら致死率はほぼ100%で、治療法のない恐ろしい病気です。ウイルスは感染した動物の神経組織と唾液腺などで増殖します。したがって唾液に排泄されますので通常感染動物に咬まれることにより感染し発病します。日本では戦後まで狂犬病の犬が発生しており、これらの犬に咬まれて狂犬病に罹り死亡しました。しかし1957年からは発生はなく、外国で犬に咬まれて感染し、帰国後に発症した人が1970年に1人と2006年に2人出たのみです。これは日本では狂犬病予防法によって犬は登録され、狂犬病のワクチンをするのが義務付けられていることが発生のない大きな原因です。しかし感染はイヌに咬まれるだけではなく、海外ではコウモリやアライグマなど多くの野生動物も感染しています。アジアではタイ、フィリピン、中国などに多く発生し、またアフリカ、メキシコ、南米、北米でも発生しています。これらの国々では野犬や野生動物がウイルスを保有しており、それが感染源になっています。狂犬病の発生国に滞在するときはワクチンを接種していくことが勧められます。この病気の特徴は咬まれてから神経を伝って脳に行き発症するまでの潜伏期間が長く、逆にこのための潜伏期間にワクチンをするなどの治療法があります。外国で犬などに咬まれた場合はすぐに医療機関に行く必要があります。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 1-6. ウエストナイルウイルス感染症

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

トップ	鳥(H5N1)インフルエンザ	新型A(H1N1)インフルエンザ	麻疹(はしか)	ノロウイルス感染症	狂犬病
ウエストナイルウイルス感染症	エボラ出血熱	結核	黄色ブドウ球菌	腸管出血性大腸菌	赤痢
マラリア					

---

**● ウエストナイルウイルス感染症**

概要

Q&A

**ウエストナイルウイルス感染症とは**

ウエストナイルウイルス感染症は日本脳炎と同じ種類のRNAウイルスのフラビウイルスによって引き起こされる病気で、このウイルスは1937年にウガンダで分離され、アフリカ、西アジア、中東で通常分布しています。このウイルスは蚊と鳥類の間で感染環をもち、病気の発病にいたる過程は主にウイルスの保持した蚊に刺されることにより人に感染をおこしますが、ほとんどの人(約80%)は無症状で経過し不顕性感染に終わります。しかし中には発熱、頭痛、筋肉痛などの症状を起こし、さらに少数の人、特に高齢者で重篤な症状であるウエストナイル脳炎や髄膜炎などになりやすく、死亡したり後遺症が残ったりします。治療法はありません。このウイルスはまだ日本には入ってきていませんが、このウイルスを運ぶ蚊は日本脳炎をうつす蚊と同じ種類で、日本に侵入した場合はこれらの蚊や鳥類を介して広く広がる可能性があります。このウイルスが注目されたのは北米で1999年頃に侵入し、その後ウマ、鳥類、さらに人へ感染が広がったことによります。現在も患者がでています。ワクチンはウマ用はありますが、人のワクチンはありませんので予防としては蚊に刺されぬことが第一です。虫よけ剤が効果的です。今後監視されなければならぬ病気の一つです。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 1-7. エボラ出血熱

### 感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

<a href="#">トップ</a>	<a href="#">鳥(H5N1)インフルエンザ</a>	<a href="#">新型A(H1N1)インフルエンザ</a>	<a href="#">麻疹(はしか)</a>	<a href="#">ノロウイルス感染症</a>	<a href="#">狂犬病</a>
<a href="#">ウエストナイルウイルス感染症</a>	<a href="#">エボラ出血熱</a>	<a href="#">結核</a>	<a href="#">黄色ブドウ球菌</a>	<a href="#">腸管出血性大腸菌</a>	<a href="#">赤痢</a>
<a href="#">マラリア</a>					

### ● エボラ出血熱

概要

---

Q & A

#### エボラ出血熱とは


エボラ出血熱(Ebola hemorrhagic fever)は1976年8月28日にコンゴ共和国(旧ザイール)北部の辺境地、ヤンブク村で発生した致死性(死亡率90%)のウイルス感染症です。ラッサ熱、マールブルグ熱などと共に感染症法1類感染症です。病原体はレベル4に分類されています。

症状は突然の高熱(39℃以上)、激しい頭痛、筋肉痛、顔面の吐血(黒色、鮮血)、下痢(血液混入)、鼻血、口腔歯肉出血、背胸部と腹部痛、舌炎、意識混濁、虚脱など、壮絶な経過を辿ります。潜伏期間は2~12日、発症すると急激に悪化して8~9日病日で死亡します。これまでアフリカ(ガボン、スーダン、コンゴ共和国=旧ザイール、象牙海岸、ウガンダ)で流行しました。原因はオオコオモリを自然宿主とするフィロウィルス科エボラウィルスの感染です。「エボラ」は第一号患者が発生した地域を流れる小川の名に由来します。フィロウィルスは電子顕微鏡像が糸状(filamentous)にみえる特異な形態を示すRNAウィルスで短径80nm、長さ14,000nmに達します。ザイール型(致死率90%)、スーダン型(致死率50%)、コートジボアール型の他にフィリピンで発見されたレ斯顿型(ヒトへの病原性は無い)があります。

患者の血液、体液、排泄物等との直接接触によりヒトからヒトへ2次感染が拡大します。空気感染はしませんが飛沫感染は否定できません。ワクチンや治療薬はありません。

確定診断には、実験室で患者の血液や体液からVero E6細胞を用いてエボラウィルスを分離します。しかし、その取扱はバイオセーフティレベル4の最高度安全実験施設(BSL-4)でのみ可能です。わが国では国立感染症研究所(感染研)にそのための施設(P4施設:1981年に建設)がありますが、現在まで施設稼働に地域住民の合意がえられていません。

ウィルス分離の他にゲノムの検出(RT-PCR法)、ウィルス抗原の検出(ELISA法)または特異抗体の検出(蛍光抗体法・ELISA法)があります。患者の旅行地や滞在歴も診断の参考になります。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright (c) 2009 NPO バイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 1-8. 結核

### 感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

<a href="#">トップ</a>	<a href="#">鳥(H5N1)インフルエンザ</a>	<a href="#">新型A(H1N1)インフルエンザ</a>	<a href="#">麻疹(はしか)</a>	<a href="#">ノロウイルス感染症</a>	<a href="#">狂犬病</a>
<a href="#">ウエストナイルウイルス感染症</a>	<a href="#">エボラ出血熱</a>	<a href="#">結核</a>	<a href="#">黄色ブドウ球菌</a>	<a href="#">腸管出血性大腸菌</a>	<a href="#">赤痢</a>
<a href="#">マラリア</a>					

### ● 結核

概要

---

Q & A

#### 結核とは

結核とヒトとの関わりは古く、ドイツのハイデルベルクで発掘された約9,000年前の人骨の第4、第5胸椎に結核カリエスの痕が認められています。また、エジプトのアダマイ遺跡で発掘された紀元前6,500~5,100年の女性に、脊椎カリエスが発見されていることから、「結核は人類と共に古くからあった」と言われています。わが国では、鳥取県の青谷上寺地(あおやかみじち)遺跡から発見された約1,800年前の人骨に認められた結核性変化が最も古い痕跡なので、結核菌はその頃大陸から持ち込まれたものと考えられています。しかし、当時の日本は人口も少なく、農業や狩猟で生活していたため、結核は広くは広がらなかった。結核菌が少しずつ活動を始めたのは江戸時代からで、本当の流行は、明治の産業革命による人口集中に伴い国内に蔓延しました。大正から第二次世界大戦の頃にかけては沢山の人が結核を発病し、また死亡しました。

WHOの推計によりますと、現在でも世界人口の約1/3にあたる20億人が結核に感染し、そのうち毎年800万人の新たな結核患者が発生し、300万人(そのうち30万人は15歳未満の子供たち)が結核で死亡しております。その99%が開発途上国に集中しています。これは単独の病原体による死亡としては依然として最悪の第一位です。一方、日本では、1950年の結核による死者は12万人、2001年の統計では1年間の新規登録患者数は約3万5千人、2007年の新規登録患者は約2万5千人、死者は2,188人であり、2008年の新規登録患者数は24,760人でした。

結核は注意をすればそれほど怖がる病気ではありません。2週間以上の微熱、せきや痰が続くようでしたら医療機関を受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐだけでなく、家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright (c) 2009 NPO バイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

1-9. 黄色ブドウ球菌感染症

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

### ●黄色ブドウ球菌

**概要**

**Q&A**

**黄色ブドウ球菌とは**

黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)は直径0.5~1.5 μmで、グラム染色では青色に染まる陽性球菌です。歴史的にはKoch(1878年)が膿汁中に発見し、Pasteur(1880年)が培養に成功したとされています。

MRSAとはMethicillin-Resistant *Staphylococcus aureus* の略で半合成ペニシリンであるメチシリンに耐性の黄色ブドウ球菌のことです。

MRSAは1961年にイギリスで分離され、1963年には日本でも分離されています。現在では病院内感染菌として最も重要な細菌で、日常診療にも困難をきたしている菌でもあります。

MRSAはペニシリン系抗生物質であるβラクタム系抗生物質が、菌の細胞壁成分であるペプチドグリカンに結合できない酵素(PBP2')を作ることで抗生物質の作用を回避しています。このPBP2'はmecAという遺伝子にコードされており、この遺伝子はDNAカセット染色体と呼ばれ、他の薬剤耐性遺伝子と共に集まっており、種を超えて伝達することが解明されています。

MRSAは黄色ブドウ球菌が耐性化した病原菌であり、黄色ブドウ球菌と比較しても特に病原性が強いわけではありません。常在菌の一つとも考えられており、健康な人の鼻腔、咽頭、皮膚などから検出されることもあります。医療施設外で日常生活が可能な保菌者の場合は、除菌のための抗菌薬投与は基本的には必要ありません。しかし、免疫力の低下した患者に感染すると、通常では本菌が起こすことがないような日和見感染を起こすこともあり、一旦発症すると、ほとんどの抗生物質が効かないこともあり、治療は困難となります。特に術後、骨髄炎、感染性心内膜炎、臓器膿瘍は難治性化し最悪の場合、死の転帰をたどることもあります。また新生児や高齢者などもハイリスクグループです。病院の新生児室ではディスポの手袋使用など、常時の予防策に努力をおしまないことで感染拡大が防止されます。MRSAは外毒素としてTSST-1やエキソフォリアチンを産生する株も認められることから皮膚疾患を呈することもあるため注意が必要といわれています。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)

Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

1-10. 腸管出血性大腸菌感染症

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

### ●腸管出血性大腸菌

**概要**

**Q&A**

**腸管出血性大腸菌とは**

腸管出血性大腸菌は1982年にアメリカオレゴン州とミシガン州でハンバーガーによる集団食中毒事件があり、患者の糞便からO157が原因菌として見つかったのが最初で、その後アメリカだけでなく世界各地で見つかっています。

大腸菌は、家畜や人の腸内にも存在します。ほとんどのものは無害ですが、このうちいくつかのものは、人に下痢などの消化器症状や合併症を起こすことがあり、病原大腸菌と呼ばれています。病原大腸菌の中には、毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群(HUS)を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれるものがあります。腸管出血性大腸菌は、菌の成分(「表面抗原」や「ペリ毛抗原」などと呼ばれている)によりさらにいくつかに分類されています。代表的なもの(「腸管出血性大腸菌O157」で、「O157」とはO抗原として157番目に発見されたものを持つという意味です。そのほかに「O26」や「O111」などで現在約180に分類されています。さらに細かく分類するとO157でも、毒素(ベロ毒素)を産生し溶血性尿毒症症候群(HUS)などの重篤な症状を起こすものは、H抗原がH7(O157:H7)とH- (マイナス)のもの(O157:H-)の2種類です。

腸管出血性大腸菌は、牛などの家畜や人の糞便中に存在するが、家畜では症状を出さぬことが多く、外から見ただけでは、菌を保有する家畜かどうかの判別は困難です。

我が国における腸管出血性大腸菌による食中毒は1996年に発生件数87事例、患者数10,322人でありましたが、近年は発生件数も減少しては2005年24事例、2007年19事例、2008年17事例の発生となっています。食中毒の原因食品としてはハンバーガー、ローストビーフ、生乳、アップルジュース、ヨーグルト、チーズ、発酵ソーセージ、調理トウモロコシ、マヨネーズ、レタス、貝割れ大根のような生食用の発芽野菜が原因として指摘されています。このように腸管出血性大腸菌は様々な食品や食材から見つかっていますので、食品の洗浄や加熱など衛生的な取扱いが大切です。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)

Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

### 1-11. 赤痢

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)


[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

**概要**  
Q & A

### 赤痢とは

細菌性赤痢の原因菌である赤痢菌は1898年に、わが国の志賀潔によって赤痢患者から初めて分離されました。今日でいうShigella dysenteriaeの血清型1(志賀赤痢菌)がそれで、彼は患者血清を用いた凝集反応を利用して、多数の混在菌の中からその選別に成功し発見者となりました。また、Flexner(1900年)はフィリピン駐留のアメリカ軍に発生した患者からマンニトール分解性の赤痢菌を分離しました。これが現在のShigella flexneriで、この菌も赤痢の原因となることがStrong & Musgrave(1900年)によりサル及びヒトで実証されました。また、Boyd(1938, 1940年)によりShigella boydiiが、Sonne(1915年)によりShigella sonneiの発見が報告されており、赤痢菌としてこの4種類が認められております。19世紀の中頃までは細菌性赤痢と原虫Entamoeba histolytica(赤痢アメーバ)を原因とする疾病「アメーバ赤痢」との区別はされていませんでした。1891年Councilman & Lafleurにより両者が異なる疾病であることを明確にしました。志賀が赤痢菌(Shigella)の分離に成功したのはその7年後のことでした。

わが国における細菌性赤痢発生状況を見ますと、かつては下痢性疾患における極めて重要な位置を占め、戦前そして戦後の1960年中頃までは、全国的に水系感染を始めとする集団事例が多発し、その患者数も毎年5~10万人にもおよぶ状態で「赤痢の国日本」と呼ばれるような状況にありました。その後衛生状態の改善に伴い患者数は急激に減少し、1970年代半ばには年間千人前後を数えるまでに至りました。その後、海外旅行者が、その旅行先で感染しわが国に持ち込む、輸入事例が年々増加してきております。細菌性赤痢の患者は2006年には477人であり、推定感染地は国内101人(21.2%)、国外372人(78.0%)等でした。推定感染地域は、アジア(316人)、アフリカ(38人)等であり、インド(109人)、中国(51人)、インドネシア(40人)、カンボジア(22人)、エジプト(21人)、タイ(17人)、ベトナム(16人)等でありました。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 1-12. マラリア

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

**概要**  
Q & A

### マラリア

マラリアの歴史は古く、紀元前1400年に中国でマラリアに関する記述があるともいわれている。


病原体はマラリア原虫であり、ハマダラカによって媒介される。原虫の種類によってヒトに起こる症状が4種類に分類されている。具体的には、熱帯熱マラリア原虫によって起こる熱帯熱、三日熱マラリア原虫によって起こる三日熱、四日熱マラリア原虫によって起こる四日熱および卵形マラリア原虫によって起こる卵形マラリアである。これらの原虫に感染してから症状が出るまでの潜伏期間は、7日間から長いものでは40日間以上ある場合がある。症状は、いずれも発熱が中心であり、脳症、腎不全を伴う。高齢者や基礎疾患を持っている人は重症化し意識障害などを起こし死に至ることもある。

マラリアの流行は、熱帯・亜熱帯地方を中心に世界100カ国以上で起こっている。WHO報告による患者数は、全世界で年間3~6億人であり死亡者も150~270万人であるとされている。わが国では、感染症法において四類感染症に位置付けられており、その全数が全国集計される。1999年以降、日本における報告数は20~60例で推移している。2009年は8月16日現在で41例が報告されている。

マラリアの診断は赤血球の中に寄生したマラリア原虫を顕微鏡で観察する方法で行うが、近年、迅速診断キットが普及している。

マラリアの治療は、早期治療が重要であり、抗マラリア薬の投与と症状に合わせた対症療法によっておこなわれる。

マラリアの予防は、ワクチンが開発されていないので、原虫を媒介する蚊に刺されないことが大切である。ハマダラカは日没後に吸血するといわれているので、流行地における夕方以降の外出には、蚊に対する対策(服装、防虫剤など)が必要である。また、流行地で蚊に刺された場合などは、マラリア予防薬の服用も効果的である。予防薬の内服は、流行地に入る数週間前から開始し、流行地を離れた後もしばらくは継続する必要がある。



[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)
Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2. 感染症関連情報

#### 2-1. リンク集

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ	鳥(H5N1)インフルエンザ	新型A(H1N1)インフルエンザ	麻疹(はしか)	ノロウイルス感染症	狂犬病	
ウエストナイルウイルス感染症	エボラ出血熱	結核	黄色ブドウ球菌	腸管出血性大腸菌	赤痢	マラリア

### リンク集

#### 国内サイト

- 厚生労働省:健康:結核・感染症に関する情報
- 国立感染症研究所 感染症情報センター
- 厚生労働省検疫所 海外感染症情報
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
- CDC感染症対策情報
- 感染症危機管理対策室(日本医師会)
- バイオメディカルサイエンス研究会

#### 海外サイト

- Centers for Disease Control and Prevention (CDC)
- Morbidity and Mortality Weekly Report (MMWR)
- Flugov
- Federal Emergency Management Agency
- Infectious Diseases Society of America

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

#### 2-2. お問い合わせ先

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ	鳥(H5N1)インフルエンザ	新型A(H1N1)インフルエンザ	麻疹(はしか)	ノロウイルス感染症	狂犬病	
ウエストナイルウイルス感染症	エボラ出血熱	結核	黄色ブドウ球菌	腸管出血性大腸菌	赤痢	マラリア

### お問い合わせ

#### お問い合わせ先

- 感染症情報国民コールセンター  
感染症全般に関するご質問を、下記電話番号にて承っております。  
××-××××-××××

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

2-3. 自治体・保健所連絡先  
〔都道府県から探す〕

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

都道府県

政令都市

東京都

都道府県から探す

**北海道** 北海道

**東北** 青森県 秋田県 岩手県 山形県 宮城県 福島県

**北関東・首都圏** 茨城県 千葉県 栃木県 東京都 群馬県 神奈川県 埼玉県

**東海** 岐阜県 愛知県 静岡県 三重県

**近畿** 滋賀県 兵庫県 京都府 奈良県 大阪府 和歌山県

**四国** 徳島県 愛媛県 香川県 高知県

**九州** 福岡県 大分県 佐賀県 宮崎県 長崎県 鹿児島県 熊本県

**中国** 鳥取県 広島県 島根県 山口県 岡山県

**甲信越・北陸** 新潟県 福井県 富山県 山梨県 石川県 長野県

**沖縄** 沖縄県

[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

〔政令都市から探す〕

**感染症情報国民コールセンター** [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) | [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) | [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) | [麻疹\(はしか\)](#) | [ノロウイルス感染症](#) | [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) | [エボラ出血熱](#) | [結核](#) | [黄色ブドウ球菌](#) | [腸管出血性大腸菌](#) | [赤痢](#) | [マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

都道府県  
政令都市  
東京都

**政令都市から探す**

**北海道** 札幌市保健所

**甲信越・北陸**  
新潟市保健所  
長野市保健所  
金沢市保健所  
福井市保健センター  
甲府市役所

**東北**  
青森市役所  
青森市保健所  
盛岡市役所  
秋田市保健所  
山形市役所  
仙台市役所  
福島市保健福祉センター

**北関東・首都圏**  
宇都宮市保健所  
前橋市役所  
大田原市役所  
千葉市役所  
さいたま市役所  
川崎市役所  
横浜市役所  
津市健康福祉部中央保健センター  
名古屋市衛生研究所

**四国** 松山市保健所

**近畿**  
大阪市保健所  
池田市役所  
神戸市役所  
大津市役所  
京都市保健福祉局  
山城北保健所  
京都府 山城広域振興局

**東海**  
静岡市保健所  
岐阜市役所  
津市健康福祉部中央保健センター  
名古屋市衛生研究所

**九州**  
福岡市  
北九州市総合保健福祉センター

**中国** 広島市役所

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.



〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

〔東京都から探す〕

**感染症情報国民コールセンター**

[リンク集](#)
[お問い合わせ](#)
[自治体・保健所連絡先](#)
[KIDSコーナー](#)
[クイズ](#)

[トップ](#)
[鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#)
[新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#)
[麻疹\(はしか\)](#)
[ノロウイルス感染症](#)
[狂犬病](#)

[ウエストナイルウイルス感染症](#)
[エボラ出血熱](#)
[結核](#)
[黄色ブドウ球菌](#)
[腸管出血性大腸菌](#)
[赤痢](#)
[マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

都道府県

政令都市

**東京都**

東京都から探す

**北多摩エリア**

- 小金井市役所
- 小平市健康センター
- 東村山市役所
- 国分寺市役所
- 清瀬市役所
- 東久留米市役所
- 西東京市役所

**西多摩エリア**

- 国立市役所
- 福生市役所
- 東大和市役所
- 武蔵村山市役所
- 多摩立川保健所

**南多摩エリア**

- 八王子市役所
- 町田市役所
- 日野市役所
- 多摩府中保健所
- 多摩市役所
- 稲城市役所

**武蔵野エリア**

- 武蔵野市
- 調布市役所
- 狛江市役所

**23区エリア**

- 千代田区役所
- 中央区
- 港区みなと保健所
- 新宿区保健所
- 文京区
- 台東区台東保健所
- 墨田区保健所
- 江東区役所
- 品川区
- 目黒区
- 大田区役所
- 世田谷区役所
- 渋谷区役所
- 中野区保健所
- 杉並区役所
- 杉並保健所
- 豊島区池袋保健所
- 北区保健所
- 荒川区役所
- 板橋区
- 練馬区保健所
- 足立区役所
- 葛飾区保健所
- 江戸川区役所

[サイトポリシー](#)
[サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 〔都道府県から探す〕

#### 2-3-1. 北海道

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

### 自治体・保健所連絡先

都道府県

政令都市

東京都

**北海道**

北海道保健福祉部保健医療局 健康推進課感染症グループ  
〒060-8588  
札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL:011-204-5253(大代表)  
011-204-5253(直通)

関連リンク

- ▶ [北海道ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

#### 2-3-2. 青森県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

### 自治体・保健所連絡先

都道府県

政令都市

東京都

**青森県**

健康福祉部保健衛生課健康危機対策グループ  
〒030-8570  
青森県青森市長島一丁目1-1  
TEL:017-734-9284  
FAX:017-734-8047  
EMAIL:hoken@pref.aomori.lg.jp

関連リンク

- ▶ [青森県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-3. 秋田県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

政令都市

東京都

**秋田県**

健康福祉部 健康推進課  
〒010-8570  
秋田市山王四丁目1-1  
TEL:018-860-1422  
FAX:018-860-3821  
EMAIL:kenkou@pref.akita.lg.jp

関連リンク

- ▶ [秋田県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c)2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-4. 岩手県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

政令都市

東京都

**岩手県**

保健福祉部保健衛生課  
〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10番1号  
TEL:019-629-5466(内線5466)  
FAX:019-629-5474

県庁保健福祉企画室 企画担当  
EMAIL:FA0035@pref.iwate.jp

関連リンク

- ▶ [岩手県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c)2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-5. 山形県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

政令都市

東京都

**山形県**

保健課 感染症予防担当  
〒990-8570  
山形市松波二丁目8-1  
TEL:023-630-2315  
FAX:023-630-2315  
EMAIL:b38J72nH@pref.yamagata.jp

関連リンク

- ▶ [山形県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-6. 宮城県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

政令都市

東京都

**宮城県**

保健福祉部 疾病・感染症対策室 結核感染症班  
〒980-8570  
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1  
TEL:022-211-2632  
FAX:022-211-2697  
EMAIL:situkan-k@pref.miyagi.jp

関連リンク

- ▶ [宮城県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-7. 福島県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) | [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) | [麻疹\(はしか\)](#) | [ノロウイルス感染症](#) | [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) | [エボラ出血熱](#) | [結核](#) | [黄色ブドウ球菌](#) | [腸管出血性大腸菌](#) | [赤痢](#) | [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

都道府県

政令都市

東京都

**福島県**

福島県保健福祉部健康衛生総室医療看護課  
〒960-8670  
福島市杉妻町2番16号  
TEL:024-521-7221  
FAX:024-521-7221

保健福祉総務課  
EMAIL:hofukusoumu@pref.fukushima.jp

関連リンク

- ▶ [福島県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-8. 茨城県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) | [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) | [麻疹\(はしか\)](#) | [ノロウイルス感染症](#) | [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) | [エボラ出血熱](#) | [結核](#) | [黄色ブドウ球菌](#) | [腸管出血性大腸菌](#) | [赤痢](#) | [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

都道府県

政令都市

東京都

**茨城県**

保健予防課  
〒310-8555  
茨城県水戸市笠原町978番6  
TEL:029-301-1111(代表)  
FAX:029-301-3239  
EMAIL:yobo@pref.ibaraki.lg.jp

関連リンク

- ▶ [茨城県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-9. 千葉県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**千葉県**

千葉県庁健康福祉部健康福祉政策課健康危機対策室  
〒260-8667  
千葉市中央区市場町1-1  
TEL:043-223-2675  
EMAIL:kenkoukiki@mz.pref.chiba.lg.jp

関連リンク

- ▶ [千葉県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(©) 2009 NPO/バイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-10. 栃木県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**栃木県**

健康増進課  
〒320-8501  
栃木県宇都宮市場田1-1-20  
TEL:028-623-3086  
FAX:028-623-3920  
EMAIL:kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp

関連リンク

- ▶ [栃木県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(©) 2009 NPO/バイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-1.1. 東京都

感染症情報国民コールセンター [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**政令都市**

**東京都**

**東京都**

**東京都**

福祉保健局 健康安全部 感染症対策課 指導調整係  
〒163-8001  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
TEL:03-5320-4481

関連リンク

- ▶ [東京都ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-1.2. 群馬県

感染症情報国民コールセンター [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**政令都市**

**東京都**

**群馬県**

健康福祉部 保健予防課  
〒371-8570  
前橋市 大手町1-1-1  
TEL:027-226-2615  
FAX:027-223-7950  
EMAIL:hokenyobo@pref.gunma.jp

関連リンク

- ▶ [群馬県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-13. 神奈川県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

#### 自治体・保健所連絡先

都道府県	神奈川県
政令都市	保健福祉部 健康増進課(エイズ・感染症対策班)
東京都	〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 TEL:045-210-4783 FAX:045-210-8874

関連リンク

- ▶ [神奈川県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-14. 埼玉県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

#### 自治体・保健所連絡先

都道府県	埼玉県
政令都市	保健医療部疾病対策課
東京都	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-830-3572 FAX:048-830-4809 EMAIL:a3590-02@pref.saitama.lg.jp

関連リンク

- ▶ [埼玉県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.



〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

2-3-15. 新潟県

感染症情報国民コールセンター [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) | [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) | [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) | [麻疹\(はしか\)](#) | [ノロウイルス感染症](#) | [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) | [エボラ出血熱](#) | [結核](#) | [黄色ブドウ球菌](#) | [腸管出血性大腸菌](#) | [赤痢](#) | [マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

**都道府県**

**新潟県**

健康対策課  
 〒950-8570  
 新潟市中央区新光町4番地1  
 TEL:025-280-5197  
 FAX:025-285-8757

新潟県庁  
 EMAIL: info@pref.niigata.lg.jp

関連リンク

- ▶ [新潟県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

2-3-16. 福井県

感染症情報国民コールセンター [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) | [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) | [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) | [麻疹\(はしか\)](#) | [ノロウイルス感染症](#) | [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) | [エボラ出血熱](#) | [結核](#) | [黄色ブドウ球菌](#) | [腸管出血性大腸菌](#) | [赤痢](#) | [マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

**都道府県**

**福井県**

健康福祉部健康増進課感染症・疾病対策グループ  
 〒910-0005  
 福井市大手3丁目17番1号  
 TEL:0776-20-0352  
 FAX:0776-20-0643  
 EMAIL: kennzou@pref.fukui.lg.jp

関連リンク

- ▶ [福井県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright(c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-17. 富山県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

#### 自治体・保健所連絡先

都道府県	富山県
政令都市	厚生部 健康課 保健予防係 〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 TEL:076-444-3225
東京都	

関連リンク

- ▶ [富山県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-18. 山梨県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

トップ | 鳥(H5N1)インフルエンザ | 新型A(H1N1)インフルエンザ | 麻疹(はしか) | ノロウイルス感染症 | 狂犬病  
ウエストナイルウイルス感染症 | エボラ出血熱 | 結核 | 黄色ブドウ球菌 | 腸管出血性大腸菌 | 赤痢 | マラリア

#### 自治体・保健所連絡先

都道府県	山梨県
政令都市	福祉保健部健康増進課 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 TEL:055-223-1493 FAX:055-223-1499 EMAIL:kenko-zsn@pref.yamanashi.lg.jp
東京都	

関連リンク

- ▶ [山梨県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#) Copyright (c) 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕 感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-19. 石川県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**石川県**

健康福祉部 健康推進課 感染症対策グループ  
〒920-8580  
石川県金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL:076-225-1438  
FAX:076-225-1444  
EMAIL:kennsu@pref.ishikawa.lg.jp

関連リンク

- ▶ [石川県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-20. 長野県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

### 自治体・保健所連絡先

**都道府県**

**長野県**

衛生部健康づくり支援課  
〒380-8570  
長野市大字南長野字幅下692-2  
TEL:026-235-7148  
FAX:026-235-7170  
EMAIL:kenko@pref.nagano.jp

関連リンク

- ▶ [長野県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright© 2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

## 〔資料2〕感染症情報コールセンターのホームページ

### 2-3-21. 岐阜県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

都道府県

政令都市

東京都

**岐阜県**

健康福祉部保健医療課  
〒500-8570  
岐阜県岐阜市藪田南2-1-1  
TEL:058-272-1111(代表)  
FAX:058-278-2624

関連リンク

- ▶ [岐阜県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(©)2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.

### 2-3-22. 静岡県

感染症情報国民コールセンター

[リンク集](#) [お問い合わせ](#) [自治体・保健所連絡先](#) [KIDSコーナー](#) [クイズ](#)

[トップ](#) [鳥\(H5N1\)インフルエンザ](#) [新型A\(H1N1\)インフルエンザ](#) [麻疹\(はしか\)](#) [ノロウイルス感染症](#) [狂犬病](#)  
[ウエストナイルウイルス感染症](#) [エボラ出血熱](#) [結核](#) [黄色ブドウ球菌](#) [腸管出血性大腸菌](#) [赤痢](#) [マラリア](#)

**自治体・保健所連絡先**

都道府県

政令都市

東京都

**静岡県**

静岡県厚生部管理局政策監  
〒420-8801  
静岡市葵区追手町9番6号  
TEL:054-221-2404  
FAX:054-221-3264  
EMAIL:kenhuku1@pref.shizuoka.jp

関連リンク

- ▶ [静岡県ホームページ](#)
- ▶ [都道府県へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) [サイトマップ](#)

Copyright(©)2009 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 All Right Reserved.